

東京都糖尿病協会会報

〒151-0053
東京都渋谷区代々木1-15-7
キャッスル代々木203
(社)日本糖尿病協会東京都支部
(東京都糖尿病協会)
TEL・FAX 03-3373-0768
http://www.dm-net.co.jp/
tokyo-tounyou/
印刷・製本 あづま堂印刷(株)

東糖協の前進のために

— 会員の増加を期待する —

東京都糖尿病協会 常任顧問 本橋 義治



先の創刊号において、会長の菅原正弘先生が東糖協の活動について「三つの輪」として次のように訴えておられます。

それは、一人で悩むより仲間と一緒に、「輪」、仲間と共に多くの人と話し合う「和」と「話」が必要であると。

そこで私は、先生の「わ」の考え方を具体化するために必要な友の会加入のメリットは、次の三つの「ち」であると考えております。

『さかえ』をよく読み、糖尿病教室へ参加することによって①糖尿病の正しい知識を得られることの「知」、②その結果治療の効果が上がることの「治」、③その良さが口伝えに地域の未加入の患者へ広がる

ことの『地』であります。

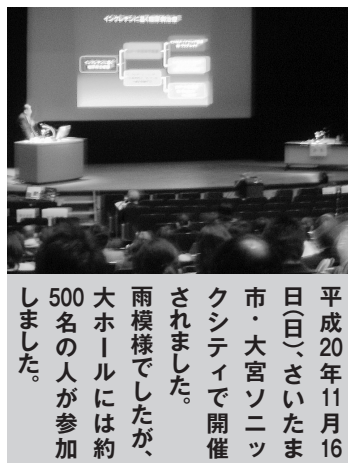
1. 加入のメリットを具体的に実現するための「当面のアクション」として、従来からの (1) 医師による友の会加入の推奨と新しい友の会の設立に加え、さらに今後は (2) 医療スタッフ、特に療養指導士の組織化と患者への友の会加入の呼びかけであります。また (3) 友の会としてはその発展のために、より積極的に (1) (2) に対する各種ボランティア活動による協力をを行うことでもあります。
2. そして「中期的アクション」として望まれることは、今日の地域における友の会の拡大に次いで、(1) 職域・職

場で働く多くの患者・予備群の若者の友の会への加入です。これは、企業の産業医の糖尿病へのより理解ある指導と患者の友の会加入の紹介であります。また、(2) 製薬メーカー・機器メーカーによる血糖値の認識とその測定のおすすめの呼びかけであり、そのため、体温計・血圧計・体重計と並んで第4の健康のチェックメーターとして血糖測定器の普及があります。(3) そのためにも、ローカルメディア・ミニコミ紙・タウン紙への一層のPRが必要だと思えます。

3. 加えて、私見ではありますが、「長期的なアクション」として「糖尿病の病名の改称」があります。(1) 糖尿病という名称は、病態と関係のない病名であります。(2) また、糖尿病『ダイアビテス』の語源はサイフォンを意味し、尿に糖を意味するものではありません。(3) さらに、排泄物を含む病名は、好ましい病名ではないと思えます。したがって、社会的に抵抗感が強く、受診率の低迷につながっているのではないかと思われま。精神分裂病が統合失調症、痲果が認知症と改められ、社会の理解と受診率の向上につながったように、糖尿病の病名の改称が友の会への加入増につながればと望んでおります。

第27回関東甲信越・糖尿病セミナー

テーマ「糖尿病で一病息災」



平成20年11月16日(日)、さいたま市・大宮ソニックシティで開催されました。雨模様でしたが、大ホールには約500名の方が参加しました。

午前中の基調講演は、講師の創意が盛り込まれた「楽しい糖尿病教室」でした。午後は、合併症と向き合いながらも俳優で声優としても活躍している、安西正弘さん達の楽しいミュージックライブ。更に、シンポジウムでは、医師・コメディカル・患者のユニークで療養に役立つ話が聞けました。担当・高橋一征(愛宕会)

第2号おもな内容

- 東糖協の前進のために ● 関東甲信越セミナー ● 第44回糖尿病週間講演会(九段会館) ● 平成20年度東糖協表彰受賞者紹介 ● 患者と主治医の二人三脚 ● 第9回糖尿病予防講演会 ● ウォークラリー・府中の森歩く会・バス旅行 ● ワンポイントアドバース ● 城北ブロック糖尿病教室 ● 世界糖尿病デー ● 平成21年度の歩く会